

中学校美術科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
1	1	(1) 作者名	フィンセント・ファン・ゴッホ	作者や作風 (イ)	ゴッホ もよい。	各5×2	
		(2) 作者名	アンリ・マティス	作者や作風 (エ)	マティス もよい。		
	2	(1)	粘土でつくった型の上に漆を含ませた麻布を張り重ねて成形し、のちに内部の粘土を取り除く技法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各7×2	
		(2)	いくつかの木を組み合わせて作る技法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		
	3	(1)	名称	矢絰	形	弓矢の矢羽根	各3×6
		(2)	名称	青海波	形	海の波	
		(3)	名称	唐草	形	からみ合うつるや草	
	4		作品を収集・保管する役割や、作品を調査・研究する役割、作品を展示する役割、教育普及活動を行う役割などがある。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	15	
	2	1	導入のねらい	生徒の身の回りにある伝達のデザインを鑑賞し、伝達のデザインの見方・感じ方を深めるとともに、形などの感情にもねたらず効果や、統一感など全体のイメージで捉えることを理解させる。		問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。導入のねらいと学習活動が対応しているものだけを正答とする。	14
			学習活動	生徒が許可を得て撮影した、地域で使われているポスターやチラシ、ロゴマークが使われている看板などの画像を鑑賞し、ロゴマークの意図や表現の工夫、共通性などについて形などの性質や統一感などの視点から感じたことや考えたことなどの意見を述べ合う。			
2	2	参考作品	次の点を踏まえて、参考作品を描くとともに、制作意図を書いていること。 ・伝えようとする内容を分かりやすく、簡略な形を用いている。 ・企業の理念を形で表し、「らしさ」や「ならでは」が伝わる。 ・言語の違う外国人の人々や文字の読めない人たちにも情報が的確に伝わる。 ・ロゴタイプが描かれている。		問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。参考作品と制作意図が対応しているものだけを正答とする。	30	
		制作意図					

57

44

中学校美術科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	着目させる部分 水面	(漣) にみられる表現の工夫	着目させる部分と各作品の表現の工夫が対応しているものだけを正答とする。	1 5	3 1
	不定形な細い筋の色面を配置するのみで、きらきらとゆらめく水面を表している。					
			(アルジャントウイユのレガッタ) にみられる表現の工夫			
			ややあらいタッチの筆致が断続的に並べられることによって、水面に揺れ動く映像を表している。			
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにある海や川などの水辺を低い視点から見つめてみたり、高い視点から見下ろしてみたりするなど角度を変えて見つめさせる。</li> <li>水辺に自分自身を投影して、様々な感情をもたせる。</li> <li>普段見慣れている水辺の風景に見られる形や色彩、全体の様子などに着目させる。</li> <li>心に残っている水辺の風景やそのときの自分の気持ちを思い出させる。</li> <li>作品に表したい身近な水辺の風景がないか考えさせる。</li> </ul>	2つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	1 6	
4	1		動植物や自然物、四季や自然現象、風景などの自然や、公園や建造物、街並みなどの環境の中に見られる、造形的な美しさを感じ取ること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	2 0
	2		生徒が環境の中の造形について鑑賞して考えたことや発想や構想をしたこと等を活用し、生かしながら、表現の学習に取り組み、表現した作品を相互に鑑賞して批評し合うなど、鑑賞と表現が関連し合いながら繰り返されるように指導を工夫する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	1 4	
5			次の点に留意して描いていること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 形を正確に捉えて表現していること。</li> <li>○ 鉛筆の濃淡によって立体感を表現していること。</li> <li>○ 鉛筆の濃淡によって質感を表現していること。</li> <li>○ 画面にバランスよく構成していること。</li> </ul>		各 1 2 × 4	4 8